
(参考資料)残高証明書CSVの出力仕様
一般振替DVP制度

2021年11月システム適用

第2.1版



株式会社ほふりクリアリング

(参考資料)残高証明書C S Vの出力仕様 一般振替D V P制度 変更歴

項番	作成基準年月	変更番号	版	開示日	備 考
1	2013年12月	-	2014年 1月システム適用 第1.0版 (暫定版)	2013年12月 2日	
2	2013年12月	-	2014年 1月システム適用 第1.0版	2014年 1月 6日	
3	2020年11月	1	2020年11月システム適用 第2.0版	2020年11月24日	
4	2021年12月	2	2021年11月システム適用 第2.1版	2021年12月30日	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

(参考資料)残高証明書CSVの出力仕様 一般振替DVP制度 第2.0版

項番	変更 区分	変更ページ	変 更 点	仕様変更概要書 案件番号	備 考
1	変更	全般	2020システム稼働に伴う改訂。	—	変更

(参考資料)残高証明書CSVの出力仕様 一般振替DVP制度 第2. 1版

項番	変更 区分	変更ページ	変 更 点	仕様変更概要書 案件番号	備 考
1	追加	2	(2) 商品区分コード の説明を追加。	—	
2	変更	3	(2) 商品区分コード の追加に伴い(2) ファイル構成 を(3) ファイル構成に変更。	—	
3	変更	3、14、 21	構成変更に伴い、以下のとおりに変更。 ・ a. 共通の表1を a. 機構加入者別DVP口座残高表(株式等)の表2に変更。 ・ a. 共通の表2を b. 機構加入者別振込国債残高表の表10に変更。 ・ a. 共通の表3を c. 参加者基金預託残高証明書の表16に変更。	—	
4	変更	8	表5 残高レコードの項番5の区分口座名称の編集内容を区分口座指定なしでも設定するよう変更。 (保持している区分口座毎に残高がない場合は残高0としてレコードを作成する)	—	
5	変更	6	上記項番4の変更による図1のCSVファイルイメージを変更。	—	

(参考資料)残高証明書CSVの出力仕様 一般振替DVP制度 目次

1. はじめに	1
2. 文字コード.....	1
3. データレコードについて.....	1
(1)出力形式.....	1
(2)商品区分コード.....	2
(3)ファイル構成.....	3
a. 機構加入者別DVP口座残高表（株式等）	3
b. 機構加入者別振込国債残高表	14
c. 参加者基金預託残高証明書	21

1. はじめに

一般振替DVP制度に関する振替口座簿記録事項証明書（以下「残高証明書」という。）のCSVファイルの仕様について記述したものである。

- ・ 機構加入者別DVP口座残高表(株式等)
- ・ 機構加入者別振込国債残高表
- ・ 参加者基金預託残高証明書

2. 文字コード

UTF-8とする。

3. データレコードについて

(1)出力形式

- ・ 各項目はダブルクォーテーション「”」で囲み、各項目間は「,」で区切る。
- ・ 改行コードは「CR+LF」を用いる。

出力例)

"570","D0","1111111","999999999","ZZZZZ"【改行(CR+LF)】

"570","D1","1111111","999999999","ZZZZZ"【改行(CR+LF)】

【EOF】

(2)商品区分コード

以下にC S Vファイルに設定する商品区分コードの商品区分名称を示す。

表1 商品区分コードと商品区分名称

項番	商品区分コード	商品区分名称
1	' 10'	内国株式
2	' 12'	優先出資
3	' 13'	投資口
4	' 15'	投資信託受益権 (E T F)
5	' 16'	受益証券発行信託受益権 (J D R)
6	' 20'	上場新株予約権付社債
7	' 25'	非上場新株予約権付社債
8	' 40'	上場新株予約権
9	' 41'	上場新投資口予約権
10	' 45'	非上場新株予約権
11	' 50'	外国株式

(3) ファイル構成

a. 機構加入者別DVP口座残高表（株式等）

(a) 共通

C S Vファイルは以下のレコードで構成する。

表2 レコードの種類

項番	レコード名	識別方法
1	指定日の先頭レコード	第二項目（レコード区分）の値が'D0'
2	残高レコード	第二項目（レコード区分）の値が'D1'、'D2'、'D3'
3	商品区分合計レコード（区分口座）	第二項目（レコード区分）の値が'S1'
4	商品区分合計レコード（利用目的）	第二項目（レコード区分）の値が'S2'
5	商品区分合計レコード（全区分口座）	第二項目（レコード区分）の値が'S3'

(b) ファイル構成

以下にC S Vファイルの構成及びファイルイメージを記載する。

表3 ファイル構成

指定日 A										指定日 N	
1	利用目的 A						利用目的 N		5	※7 参照	
	区分口座 A				区分口座 N		4	商品区分合計レコード 1 ～ N (利用目的) (※3) (※8)			※6 参照
	商品区分 A		商品区分 N		※5 参照						
	銘柄 a	銘柄 b	3	銘柄 n							
	2	残高レコード (※1)		残高レコード		商品区分合計レコード (区分口座) (※2)					

※1 残高レコードのシーケンス

証明対象日 (昇順) > 利用目的区分 (昇順) > 区分口座 (昇順) > 商品区分 (昇順) > 銘柄コード (昇順)

※2 商品区分合計レコード (区分口座) は区分口座 A の商品区分 A の残高レコードを全て出力した後に出力する

※3 商品区分合計レコード (利用目的) は利用目的 A の残高レコードを全て出力した後に商品区分別に出力する

※4 商品区分合計レコード (全区分口座) は全ての利用目的の残高レコードを出力した後に商品区分別に出力する

※5 区分口座 A と同様

- ※6 利用目的Aと同様
- ※7 指定日 Aと同様
- ※8 請求時に区分口座指定が行われた場合には出力しない

(c) レコード構成

以下に各レコードの構成及び項目の説明を記載する。

表 4 指定日の先頭レコード

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'570' をセットする。
2	レコード区分	2	'D0' をセットする。
3	制度種別	3	'株式等' をセットする。
4	請求日	8	「請求日」をセットする。
5	機構加入者正式名(直近)	100	直近の「機構加入者正式名」をセットする。
6	証明対象日	8	「証明対象日」をセットする。
7	機構加入者正式名	100	証明対象日の「機構加入者正式名」をセットする。※1
8	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」をセットする。
9	機構加入者の住所	200	証明対象日の「機構加入者の本店所在地」をセットする。※1
10	区分口座コード	2	・区分口座指定ありの場合、「区分口座コード」をセットする。 ・区分口座指定なしの場合、null をセットする。

※1 証明対象日が 2020 年 11 月 23 日以前の場合、null をセットする。

表5 残高レコード

項番	項目名	最大桁数	編集内容	
1	請求区分	3	'570' をセットする。	
2	レコード区分	2	残高ありの場合、'D1' をセットする。	銘柄指定ありで残高なしの場合、'D2' をセットする。 銘柄指定なしで残高なしの場合、'D3' をセットする。
3	証明対象日	8	「証明対象日」をセットする。	
4	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」をセットする。	
5	区分口座名称	32	「区分口座」＋「利用目的区分名称」をセットする。	
6	商品区分コード	2	「商品区分コード」をセットする。	null
7	銘柄名称	200	「銘柄名称」をセットする。	null
8	I S I Nコード	12	「I S I Nコード」をセットする。	null
9	銘柄コード	9	「銘柄コード」をセットする。	null
10	発行体名称	100	「発行体名称」をセットする。※1	null
11	基準単価	12	「基準単価」をセットする。	'0' をセットする。
12	掛目	3	「掛目」をセットする。	'0' をセットする。
13	残高	14	項番 14 から 18 の合計をセットする。	'0' をセットする。
14	内受入予定証券	14	「受入予定証券」をセットする。	'0' をセットする。
15	内受入予定証券(貸株担保分)	14	「受入予定証券(貸株担保分)」をセットする。	'0' をセットする。
16	内担保指定証券(振替対象)	14	「担保指定証券(振替対象)」をセットする。	'0' をセットする。
17	内担保指定証券(振替対象外)	14	「担保指定証券(振替対象外)」をセットする。	'0' をセットする。
18	内担保指定証券(貸株担保分)	14	「担保指定証券(貸株担保分)」をセットする。	'0' をセットする。

項番	項目名	最大桁数	編集内容	
19	残高(評価額)	14	項番 20 から 24 の合計をセットする。	'0' をセットする。
20	受入予定証券(評価額)	14	「受入予定証券(評価額)」をセットする。	'0' をセットする。
21	受入予定証券(貸株担保分)(評価額)	14	「受入予定証券(貸株担保分)(評価額)」をセットする。	'0' をセットする。
22	担保指定証券(振替対象)(評価額)	14	「担保指定証券(振替対象)(評価額)」をセットする。	'0' をセットする。
23	担保指定証券(振替対象外)(評価額)	14	「担保指定証券(振替対象外)(評価額)」をセットする。	'0' をセットする。
24	担保指定証券(貸株担保分)(評価額)	14	「担保指定証券(貸株担保分)(評価額)」をセットする。	'0' をセットする。

※1 証明対象日が 2020 年 11 月 23 日以前の場合、null をセットする。

表 6 商品区分合計レコード (区分口座)

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'570' をセットする。
2	レコード区分	2	'S1' をセットする。
3	証明対象日	8	「証明対象日」 をセットする。
4	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」 をセットする。
5	区分口座名称	32	「区分口座」 + 「利用目的区分名称」 をセットする。
6	商品区分コード	2	「商品区分コード」 をセットする。
7	銘柄名称	2	固定文言「合計」 をセットする。
8	I S I Nコード	—	null
9	銘柄コード	—	null
10	商品区分名称	16	「商品区分名称」 をセットする。
11	銘柄数	5	機構加入者口座の商品区分毎の「銘柄数」 をセットする。
12	残高	15	項番 13 から 17 の合計をセットする。
13	内受入予定証券	15	機構加入者口座の商品区分毎の「受入予定証券」 合計をセットする。
14	内受入予定証券(貸株担保分)	15	機構加入者口座の商品区分毎の「受入予定証券(貸株担保分)」 合計をセットする。
15	内担保指定証券(振替対象)	15	機構加入者口座の商品区分毎の「担保指定証券(振替対象)」 合計をセットする。
16	内担保指定証券(振替対象外)	15	機構加入者口座の商品区分毎の「担保指定証券(振替対象外)」 合計をセットする。
17	内担保指定証券(貸株担保分)	15	機構加入者口座の商品区分毎の「担保指定証券(貸株担保分)」 合計をセットする。
18	訂正履歴の残高	15	項番 19 から 23 の合計をセットする。
19	訂正履歴の受入予定証券	15	機構加入者口座の商品区分毎の「訂正履歴の受入予定証券」 合計をセットする。
20	予備	—	null
21	訂正履歴の担保指定証券(振替対象)	15	機構加入者口座の商品区分毎の「訂正履歴の担保指定証券(振替対象)」 合計をセットする。
22	訂正履歴の担保指定証券(振替対象外)	15	機構加入者口座の商品区分毎の「訂正履歴の担保指定証券(振替対象外)」 合計をセットする。
23	予備	—	null

表 7 商品区分合計レコード (利用目的)

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'570' をセットする。
2	レコード区分	2	'S2' をセットする。
3	証明対象日	8	「証明対象日」 をセットする。
4	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」 をセットする。
5	区分口座名称	32	固定文言「全」＋「利用目的区分名称」 をセットする。
6	商品区分コード	2	「商品区分コード」 をセットする。
7	銘柄名称	2	固定文言「合計」 をセットする。
8	I S I Nコード	—	null
9	銘柄コード	—	null
10	商品区分名称	16	「商品区分名称」 をセットする。
11	銘柄数	5	利用目的の商品区分毎の「銘柄数」 をセットする。
12	残高	15	項番 13 から 17 の合計をセットする。
13	内受入予定証券	15	利用目的の商品区分毎の「受入予定証券」 合計をセットする。
14	内受入予定証券(貸株担保分)	15	利用目的の商品区分毎の「受入予定証券(貸株担保分)」 合計をセットする。
15	内担保指定証券(振替対象)	15	利用目的の商品区分毎の「担保指定証券(振替対象)」 合計をセットする。
16	内担保指定証券(振替対象外)	15	利用目的の商品区分毎の「担保指定証券(振替対象外)」 合計をセットする。
17	内担保指定証券(貸株担保分)	15	利用目的の商品区分毎の「担保指定証券(貸株担保分)」 合計をセットする。
18	訂正履歴の残高	15	項番 19 から 23 の合計をセットする。
19	訂正履歴の受入予定証券	15	利用目的の商品区分毎の「訂正履歴の受入予定証券」 合計をセットする。
20	予備	—	null
21	訂正履歴の担保指定証券(振替対象)	15	利用目的の商品区分毎の「訂正履歴の担保指定証券(振替対象)」 合計をセットする。
22	訂正履歴の担保指定証券(振替対象外)	15	利用目的の商品区分毎の「訂正履歴の担保指定証券(振替対象外)」 合計をセットする。
23	予備	—	null

表 8 商品区分合計レコード（全区分口座）

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'570' をセットする。
2	レコード区分	2	'S3' をセットする。
3	証明対象日	8	「証明対象日」 をセットする。
4	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」 をセットする。
5	区分口座名称	5	固定文言「全区分口座」 をセットする。
6	商品区分コード	2	「商品区分コード」 をセットする。
7	銘柄名称	2	固定文言「合計」 をセットする。
8	I S I Nコード	—	null
9	銘柄コード	—	null
10	商品区分名称	16	「商品区分名称」 をセットする。
11	銘柄数	5	証明対象日の商品区分毎の「銘柄数」 をセットする。
12	残高	15	項番 13 から 17 の合計をセットする。
13	内受入予定証券	15	証明対象日の商品区分毎の「受入予定証券」 合計をセットする。
14	内受入予定証券(貸株担保分)	15	証明対象日の商品区分毎の「受入予定証券(貸株担保分)」 合計をセットする。
15	内担保指定証券(振替対象)	15	証明対象日の商品区分毎の「担保指定証券(振替対象)」 合計をセットする。
16	内担保指定証券(振替対象外)	15	証明対象日の商品区分毎の「担保指定証券(振替対象外)」 合計をセットする。
17	内担保指定証券(貸株担保分)	15	証明対象日の商品区分毎の「担保指定証券(貸株担保分)」 合計をセットする。
18	訂正履歴の残高	15	項番 19 から 23 の合計をセットする。
19	訂正履歴の受入予定証券	15	証明対象日の商品区分毎の「訂正履歴の受入予定証券」 合計をセットする。
20	予備	—	null
21	訂正履歴の担保指定証券(振替対象)	15	証明対象日の商品区分毎の「訂正履歴の担保指定証券(振替対象)」 合計をセットする。
22	訂正履歴の担保指定証券(振替対象外)	15	証明対象日の商品区分毎の「訂正履歴の担保指定証券(振替対象外)」 合計をセットする。
23	予備	—	null

(d) その他

以下に抽出対象の指定方法と出力レコードの関係について記載する。

表9 抽出対象の指定方法と出力レコードの関係

項番	レコード名	抽出対象の指定方法							
		残高あり				残高なし			
		銘柄指定あり		銘柄指定なし		銘柄指定あり		銘柄指定なし	
		区分口座指定あり	区分口座指定なし	区分口座指定あり	区分口座指定なし	区分口座指定あり	区分口座指定なし	区分口座指定あり	区分口座指定なし
1	指定日の先頭レコード	○	○	○	○	○	○	○	○
2	残高レコード	○	○	○	○	○	○	○	○
3	商品区分合計レコード (区分口座)	○	○	○	○	○	○	○	○
4	商品区分合計レコード (利用目的)	×	○	×	○	×	○	×	○
5	商品区分合計レコード (全区分口座)	×	○	×	○	×	○	×	○

b. 機構加入者別振込国債残高表

(a) 共通

C S Vファイルは以下のレコードで構成する。

表 10 レコードの種類

項番	レコード名	識別方法
1	指定日の先頭レコード	第二項目（レコード区分）の値が' D0'
2	残高レコード	第二項目（レコード区分）の値が' D1'、' D2'、' D3'
3	評価額合計レコード	第二項目（レコード区分）の値が' S1'

(b) ファイル構成

以下にCSVファイルの構成及びファイルイメージを記載する。

表 11 ファイル構成

口座系番号A						口座系番号N	
指定日A					指定日N		
指定日の先頭レコード	振決参加者種別A			振決参加者種別N	3 評価額合計レコード	※4 参照	※5 参照
	振決口座区分A		振決口座区分N				
	銘柄 a	銘柄 n					
	1 残高レコード (※1)	2 残高レコード	※2 参照	※3 参照			

※1 残高レコードのシーケンス

口座系番号（昇順）＞証明対象日（昇順）＞振決参加者種別（昇順）＞振決口座区分（昇順）＞ISINコード（昇順）

※2 振決口座区分Aと同様

※3 振決参加者種別Aと同様

※4 指定日Aと同様

※5 口座系番号Aと同様



図2 CSVファイルイメージ（2020年12月24日～12月25日の期間を証明対象日に指定）

(c) レコード構成

以下に各レコードの構成及び項目の説明を記載する。

表 12 指定日の先頭レコード

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'610' をセットする。
2	レコード区分	2	'D0' をセットする。
3	制度種別	—	null
4	請求日	8	「請求日」をセットする。
5	機構加入者正式名(直近)	100	直近の「機構加入者正式名」をセットする。
6	証明対象日	8	「証明対象日」をセットする。
7	機構加入者正式名	100	証明対象日の「機構加入者正式名」をセットする。※1
8	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」をセットする。
9	機構加入者の住所	200	証明対象日の「機構加入者の本店所在地」をセットする。※1
10	区分口座コード	—	null
11	口座系番号	3	「口座系番号」をセットする。

※1 証明対象日が 2020 年 11 月 23 日以前の場合、null をセットする。

表 13 残高レコード

項番	項目名	最大桁数	編集内容		
1	請求区分	3	'610' をセットする。		
2	レコード区分	2	残高ありの場合、'D1' をセットする。	銘柄指定ありで残高なしの場合、'D2' をセットする。	銘柄指定なしで残高なしの場合、'D3' をセットする。
3	証明対象日	8	「証明対象日」をセットする。		
4	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」をセットする。		
5	口座系番号	3	「口座系番号」をセットする。	・口座系番号指定ありの場合、「口座系番号」をセットする。 ・口座系番号指定なしの場合、null をセットする。	
6	振決参加者種別	2	「振決参加者種別」をセットする。	null	
7	振決口座区分名称	18	「振決口座区分名称」をセットする。	null	
8	振決口座区分コード	2	「振決口座区分コード」をセットする。	null	
9	銘柄名称	200	「銘柄名称」をセットする。		null をセットする。
10	I S I Nコード	12	「I S I Nコード」をセットする。		null をセットする。
11	予備	—	null		
12	基準単価	14	「基準単価」をセットする。	'0' をセットする。	
13	残高	14	「振決国債残高」をセットする。	'0' をセットする。	
14	評価額	15	「振決国債評価額」をセットする。	'0' をセットする。	

表 14 評価額合計レコード

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'610' をセットする。
2	レコード区分	2	'S1' をセットする。
3	証明対象日	8	「証明対象日」 をセットする。
4	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」 をセットする。
5	口座系番号	3	「口座系番号」 をセットする。
6	評価額合計	15	「振込国債評価額」 の合計をセットする。

(d) その他

以下に抽出対象の指定方法と出力レコードの関係について記載する。

表 15 抽出対象の指定方法と出力レコードの関係

項番	レコード名	抽出対象銘柄の指定方法			
		銘柄指定なし		銘柄指定あり	
		残高あり	残高なし	残高あり	残高なし
1	指定日の先頭レコード	○	○	○	○
2	残高レコード	○	○	○	○
3	評価額合計レコード	○	○	○	○

c. 参加者基金預託残高証明書

(a) 共通

C S Vファイルは以下のレコードで構成する。

表 16 レコードの種類

項番	レコード名	識別方法
1	指定日の先頭レコード	第二項目（レコード区分）の値が'D0'
2	残高レコード	第二項目（レコード区分）の値が'D1'、'D2'

(b) ファイル構成

以下にC S Vファイルの構成及びファイルイメージを記載する。

表 17 ファイル構成

指定日 A ※ 1		指定日 N
1	2	※ 2 参照
指定日の先頭レコード	残高レコード	

※ 1 指定日のシーケンス
指定日（昇順）

※ 2 指定日 A と同様



図3 CSVファイルイメージ（2020年12月23日～12月25日の期間を証明対象日に指定）

(c) レコード構成

以下に各レコードの構成及び項目の説明を記載する。

表 18 指定日の先頭レコード

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'990' をセットする。
2	レコード区分	2	'D0' をセットする。
3	制度種別	—	null
4	請求日	8	「請求日」をセットする。
5	機構加入者正式名(直近)	100	直近の「機構加入者正式名」をセットする。
6	証明対象日	8	「証明対象日」をセットする。
7	機構加入者正式名	100	証明対象日の「機構加入者正式名」をセットする。※1
8	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」をセットする。
9	機構加入者の住所	200	証明対象日の「機構加入者の本店所在地」をセットする。※1
10	区分口座コード	—	null

※1 証明対象日が 2020 年 11 月 23 日以前の場合、null をセットする。

表 19 残高レコード

項番	項目名	最大桁数	編集内容
1	請求区分	3	'990' をセットする。
2	レコード区分	2	残高ありの場合、'D1' をセットする。残高なしの場合、'D2' をセットする。
3	口座管理機関コード	5	「口座管理機関コード」をセットする。
4	証明対象日	8	「証明対象日」をセットする。
5	参加者基金預託残高	18	「参加者基金預託残高」をセットする。'0' をセットする。

(d) その他

以下に抽出対象の指定方法と出力レコードの関係について記載する。

表 20 抽出対象の指定方法と出力レコードの関係

項番	レコード名	残高あり	残高なし
1	指定日の先頭レコード	○	○
2	残高レコード	○	○